

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	仙台市西花苑たんぽぽホーム			
○保護者評価実施期間	令和7年2月17日 ～ 令和7年3月7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	令和7年2月28日 ～ 令和7年3月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園の形態を取っていること。	一緒に参加しながら、またはマジックミラー越しに子どもの姿や活動内容、支援方法などを直接見ることができ、保護者の子ども理解、家庭での育児のヒントに繋がっている。	活動中やミーティングの時間を通して子どもの姿を共有し、さらに子どもへの理解を深められるようにする。
2	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	毎回、必ずクラスごとに子どもや保護者の姿、対応、支援方法などについて振り返る時間を設け、次回以降への支援に繋がっている。また、振り返りの内容をクラス日誌に記録するようにしている。	業務を効率的に行い、振り返りの時間を確保できるようにする。
3	保護者からの育児等に関する相談に応じ、面談を適時行っている。	面談日以外にも保護者や子どもの様子から保護者の心情を察知し、タイムリーに面談を行い、面談内容も職員間で共有するようにしている。	子育てや発達、障害、福祉制度などに対する知識を深められるよう園内研修を効果的に行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数への工夫が必要である。	支援度が高く在籍年数や年齢が高い児には単独通園を実施しているが、親子通園を想定した人員配置となっているため支援の体制に工夫が必要である。	当日の出席人数や児の状態像に応じた職員配置を工夫し、安全に配慮する。 仙台市とは課題を共有しており、今後、西花苑たんぽぽホームの在り方を検討していく予定である。
2	職員の意見から業務改善につなげること。	課題の抽出はできているが、改善、実行に至っていないことがある。	引き続き、職員が課題を挙げやすい環境を整備するとともに、良い点は定着、改善点は具体的な解決策を見いだせるようにする。
3			